

【1】2025年度は事業所再編のため、5月末にみなみ診療所、9月末にもみじ台内科診療所および月寒ファミリークリニックを閉鎖した。

診療及び保健予防事業については全病院、診療所において実施しており、入院施設をもたない診療所は法人のネットワークを活用して入院先を確保し、入院治療を行った。4病院で協会けんぽの生活習慣病予防健診の受託医療機関であり、労働安全衛生法に基づく雇用者健診等を実施している。詳細は下記のとおりである。

事業分類	項目 / 年度		2025年度
医療介護活動1	外来	患者件数	349,285
		延患者数	467,621
		1日患者数	1,847
	在宅	訪問診療	31,649
		管理患者数	1,974
		在宅時医学総管理	1,449
	入院	患者件数	20,150
		延患者数	253,813
		1日患者数	695
医療介護活動2 *再掲	透析	外来	10,043
		入院	2,658
	手術	全件数(うち全麻件数)	3,695 (1,966)
		外科	961 (717)
		整形外科	1,482 (1,002)
		産科	115 (5)
		婦人科	117 (77)
		耳鼻咽喉科	19 (18)
		眼科	564
		皮膚科	0
		内科	375 (124)
		泌尿器科	62 (23)
		その他検査等	0
		病理解剖検査数	8
	分娩	分娩件数	193
	労災	外来患者数	6,385
		入院患者数	375
医療介護活動3	特診	整形外科	1院所/33人
		心臓	0院所/0人
		眼科	3院所/192人
		甲状腺	0院所/0人
		その他	3院所/189人(胃Fs等)
	健診	成人病健診/特定健診	13,981
		母親教室	0回/0人
		安産教室	0回/0人
		被爆者健診	37
		乳児検診	276
		企業健診	12,806
		政府管掌健康保険健診	8,887
		学校健診	1,681
		学校健診(側わん)	36
		学校健診(耳鼻科)	891

【2】生活困難者のための、無料または低額な料金で診療等を行う事業については、全ての病院・診療所で行った。法人全体では、生活保護と無料・低額診療の患者の合計が総患者数の17.0%である。詳細は下記のとおりである。

院 所		2025年度				
		(2025年4月～2026年3月)			再掲件数	
		件数	日数	減免金額	新規	就学援助
中央病院	入院	243	7,348	26,126,972	110	6
	外来	467	3,521	18,852,493	81	36
	小計	568	10,869	44,979,465	191	37
札幌病院	入院	62	2,073	5,730,391	32	3
	外来	610	4,374	9,242,179	124	215
	小計	631	6,447	14,972,570	156	215
札幌西区病院	入院	51	1,788	5,440,201	34	0
	外来	92	864	2,665,376	19	10
	小計	128	2,652	8,105,577	53	10
苫小牧病院	入院	24	1,014	2,641,389	7	0
	外来	180	1,234	3,565,640	21	14
	小計	189	2,248	6,207,029	28	14
伏古10条クリニック		131	1,259	2,894,578	17	11
札幌北区ぽぶらクリニック		54	363	1,031,596	12	3
月寒ファミリークリニック		8	12	22,620	2	2
平和通クリニック		39	297	993,380	15	5
もみじ台内科診療所		20	93	371,950	1	0
札幌みなみ診療所		14	25	33,550	0	0
当別診療所		21	223	1,019,264	6	0
小樽診療所		40	380	950,280	3	4
余市診療所		11	147	321,360	10	2
くろまつないブナの森診療所	入院	14	834	1,109,216	1	0
	外来	50	700	1,358,060	4	0
	小計	51	1,534	2,467,276	5	0
室蘭診療所		15	132	295,860	1	0
厚賀診療所		32	537	867,000	5	0
浦河診療所		78	764	1,565,710	9	22
上砂川診療所		39	435	1,206,160	8	0
芦別平和診療所		19	145	574,240	0	0
老健柏ヶ丘	介護	3	186	522,437	0	0
西区病院介護医療院	介護	5	634	1,850,624	5	0
合 計	入院	394	13,057	41,048,169	184	9
	外来	1,920	15,505	47,831,296	338	324
	介護	8	820	2,373,061	5	0
	総計	2,096	29,382	91,252,526	527	325

* 統計件数は一人が入院・外来と両方で利用された場合は1件とする

2025年度 無料低額診療 統計

	2025年度	
1. 保険	件数	構成比
国保	794	37.9%
短期保険証	0	0.0%
資格証明証	0	0.0%
社保本人	396	18.9%
社保家族	246	11.7%
後期高齢者	642	30.6%
無保険	9	0.4%
その他	0	0.0%
介護保険	10	0.5%
合計	2,096	100.0%

	2025年度	
2. 適用区分	件数	構成比
1.無料診療	17	0.8%
2.一部負担金の全額免除	2,007	95.7%
3.一部負担金の一部免除	73	3.5%
合計	2,096	100.0%

	2025年度	
3. 申請理由	件数	構成比
1.低所得	1,592	76.0%
2.失業・倒産	14	0.7%
3.ホームレス	1	0.0%
4.病弱	0	0.0%
5.DV被害者	2	0.1%
6.外国人	25	1.2%
7.人身取引被害者	2	0.1%
8.就学援助世帯	325	15.5%
9.その他	135	6.4%
合計	2,096	100.0%

	2025年度
4. 新規利用者数	件数
	527

	2025年度	
5. 性別	件数	構成比
男性	929	44.3%
女性	1,167	55.7%
計	2,096	100.0%

	2025年度	
6. 年代	件数	構成比
00代	59	2.8%
10代	82	3.9%
20代	45	2.1%
30代	121	5.8%
40代	245	11.7%
50代	325	15.5%
60代	342	16.3%
70代	511	24.4%
80代以上	367	17.5%
計	2,096	100.0%

	2025年度	
7. 世帯	件数	構成比
1人世帯	889	42.4%
2人世帯	661	31.5%
3人世帯	293	14.0%
4人世帯	159	7.6%
5人以上世帯	94	4.5%
計	2,096	100.0%

【3】第一種助産施設の運営については、札幌病院が2026年3月末まで、札幌市内5か所の病院の一つとして、経済的困難が理由で出産費用を準備できない方の分娩を取り扱い、入院助産施設のない市町村からも受け入れを行った。2025年度は193件を取り扱った。2026年4月よりその機能を中央病院に移転するとともに、小児科の入院施設も運営を開始し、病気や障害のある新生児の一次対応を行い、周産期医療の一端を担っている。

また、札幌病院での産後ケア事業は、2025年度末で終了し、2026年度からは中央病院で助産師が母親のサポートを継続している。

【4】救急医療については、中央病院が二次救急指定病院に参加し、2025年度5,804台の救急車を受け入れた。札幌病院は救急医療体制における小児科に関わる輪番制に2026年3月末まで参加した。

【5】休日・夜間等の医療の供給については、4病院3診療所が夜間休日当番病院の輪番制に参加し、休日や夜間の医療供給を行った。また、3病院・10診療所において夜間診療を行い、日中の通院が困難な方の受診機会を確保した。

- 【6】災害医療については、中央病院が丘珠空港事故救急対応病院、札幌市の災害時基幹病院となっている。
- 【7】へき地医療については、厚賀診療所が引き続き北海道のへき地診療所に指定されている他、北海道緊急臨時的医師派遣事業に参加し、平取町国民健康保険病院へ医師を派遣した。
- 【8】難病者に対する継続的な医療については、自治体の要請に応え、年4回専門医を派遣し、南宗谷地域におけるリウマチ・自己免疫疾患の難病患者の診療と患者会との交流を行った。
- 【9】卒後臨床研修指定病院の取り組みについては、1997年より臨床研修病院の指定を受けており、2025年度は13名の初期研修医の受け入れを行った。中央病院が基幹型となり、札幌病院・西区病院・苫小牧病院のほか9病院が協力型、診療所など21施設が協力施設となっており、北海道における医師養成の一翼を担っている。
- 【10】介護及び介護予防事業として運営していた老人保健施設柏ヶ丘は、2025年10月末で閉鎖となった。2025年度の入所者数は延べ6,140人、短期入所の入所者数は延べ643人だった。病院での入院治療と在宅療養を橋渡しし、切れ目のない一体的なサービスを提供した。通所リハビリテーションの2025年度延べ利用者は、3,812人である。
また、医療を必要とする要介護者の長期療養・生活施設である西区病院の介護医療院では、延べ14,922人を受け入れた。
- 【11】病児デイサービス事業については、札幌病院に附設して札幌市の子育て支援事業である病児デイサービス事業を勤医協菊水こどもデイサービスセンターで運営し、2025年度は延べ135人の児童が利用したが、2026年3月末をもって事業を終了した。
- 【12】衛生検査所の設置については、病理検査を扱っており、手術中の迅速病理診断も行い臨床機能の一部となっている。病理科の医師と研修医が合同で臨床病理カンファレンスを行い、臨床研修病院の機能を補完している。
- 【13】健康予防に関する知識の普及、啓蒙活動については、すべての病院・診療所で地域住民を対象とした無料の健康相談会を開催し、健康教育や保健予防の知識の普及、医療相談などを行った。2025年度は308回実施し、4,482人が参加した。内容は病気の予防、治療法、医療制度の理解の促進などである。講師は、医師、看護師、リハビリ技士、栄養士などの医療技術者やソーシャルワーカーが務めた。
- 【14】医療・福祉に関する調査研究については、日常の診療で得られた知見や独自の調査活動の成果をまとめ学会や研究会などで発表を行った。大学病院や医学部での先端研究と異なり、患者の生活や労働と疾病の関係、生活の質（QOL）の向上のためのケアなどを研究の対象としている。勤医協看護雑誌等も発行し、研究活動の成果を広く普及するとともに後継者の教育に活用した。研究にあたっては、患者の人権を尊重し、医療・生命の倫理を重視している。